

## [報告]

## サイバーサイエンスセンターとドイツジーゲン大学情報メディア技術センターが 研究協定締結

2014年3月26日(水)にサイバーサイエンスセンターとドイツジーゲン大学情報メディア技術センターは、これまでの高性能計算に関する協力関係をより一層強化発展させるために、研究協定を締結しました。

協定の締結は、サイバーサイエンスセンターにおいて、小林広明センター長とジーゲン大学情報メディア技術センターのローラーセンター長との間で調印されました。

今回、研究協定を締結することにより、計算科学分野、および計算機工学分野における研究領域において、両センターが連携・協力を効果的に実施し、両国の学術及び科学技術の振興を推進することとしています。

具体的には次の事項について、連携・協力を推進します。

1. 技術交流・情報交換、及び人材交流・人材育成
2. セミナー、シンポジウム等の共同実施
3. 技術的な評価のためのコンピュータシステムおよびプログラムの相互利用
4. コンピュータプログラムや高性能計算技術に関する共同研究等による研究開発
5. 情報通信インフラの構築運用技術と学術応用

また、両センターは、次の事項について共同研究・開発を推進します。

1. ハイブリッドコンピュータアーキテクチャ
2. 大規模・高メモリバンド幅並列処理技術
3. 大規模アプリケーションとそれらのハードウェア特性
4. マルチスケール・マルチフィジックス連成計算技術
5. ビッグデータ管理技術
6. セキュア、かつスケーラブルなネットワーク技術
7. 遠隔可視化

ジーゲン大学(University of Siegen)は、1972年に設立されたドイツ中西部ノルトライン＝ヴェストファーレン州に位置する総合大学です。ジーゲン大学は4つの学部から構成され、2014年現在、約2万人の学生を擁しています。

今回共同研究協定を締結したジーゲン大学情報メディア技術センターは、ジーゲン大学の学内ネットワーク、高性能計算資源を含む情報基盤の整備・運用と高性能計算技術、ネットワーク技術、メディア管理技術に関する研究開発を目的に2005年に設立されました。

